

# シャロンの花だより

信仰のきずなによって聖霊が働き、キリストに在って一つとなる

◆ 希望・平和・多様性 ◆

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう

ローマの信徒への手紙15章13節



## 巻頭言

日本福音ルーテル三鷹教会牧師 高村敏浩

主題聖句：「希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう

ローマの信徒への手紙15章13節

主題聖句は、ローマ教会のためのパウロの願いであり、祈りの言葉です。当時のローマ教会には、「信仰の弱い人」と「強い者」との対立がありました。信仰の共同体が分裂していたわけです。そのような中で、パウロはキリスト者が持つ希望を、またその源を明確に指し示します。しかし、この祈りの言葉のほんの少し前、同じ15章の5-6節にもまた、パウロの祈りがあることにお気づきでしょうか。

「忍耐と慰めの源である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに倣って互いに同じ思いを抱かせ、心を合わせ声をそろえて、わたしたちの主イエス・キリストの神であり、父である方をたたえさせてくださいますように。」13節の祈りは、この5-6節の祈りと対になっているようです。「忍耐と慰めの源である神」と「希望の源である神」という似通った表現からも、そのことが分かります。これほど近接するところで、しかも同じような祈りの言葉をパウロは語っているわけです。

20世紀には、教会一致運動が活発になりました。1962-1965年に行われた第2バチカン公会議の後、16世紀以来長く対立してきたカトリック教会とルーテル教会の間でも対話がはじまります。これは、アメリカでの最初期の両教会の対話について聞いた話です。代表者たちは、和解や一致を目指し話を重ねるのですが、互いに歩み寄ることができず、一致など不可能に思えたそうです。そのような絶望感の中、彼らは会を閉じようとして、主の祈りを祈ります。そのとき彼らはハッとします。自分たちが同じ祈りの言葉をもって、同じ神に祈っていることに気付いたからです。確かに対立し、意見が合わないこ

とがあるものの、自分たちが同じ神に祈り、イエスにあって一つなのだということもまた確かなのだと、彼らは気付いたのです。そして、この気が与えられてからは、困難があっても、対話は希望のうちに前に進むようになったということでした。

パウロの最初の祈りは、教会内で対立する自分たちに忍耐し、そしてそのような分裂への慰めである神を明らかにします。信徒たちがキリストにあって同じ思いを持ち、同じ神をたたえられるようにと言って、対立する者たちに、それよりも強い、キリストに結ばれた一致を指し示すわけです。主題聖句は、そのような一つの信仰の群れとして、希望をもって共に働くことができるという祈りなのです。女性会もまた、主題に「一つとなる」ことを意識しなければならぬ困難を抱えて葛藤しています。しかし、忘れてならないのは、そのような対立や分裂は、それぞれが女性会のためによいと思ひ、また必要だと思っていたこと、していることの結果なのだということです。対立する相手も、同じ目的を持つ仲間であり、キリストにある姉妹なのだと思ふとき、キリスト者同士である自分たちにすでに一致があり、それゆえに、たとえ今はまだはっきり希望を見ることができなくても、確かに神が希望を与えてくださることを信頼し、葛藤と模索を続ける力を得ることができるのではないのでしょうか。忍耐と慰め、希望の源である神が、あなたがたと、確かに共におられます。

# 信仰のきずなによって聖霊が働き、キリストに在って一つとなる

## ◆ 希望・平和・多様性 ◆

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満ちし、  
聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう

(ローマの信徒への手紙15章13節)



東教区女性会の皆様、暑さ厳しい夏を過ぎ、涼しさを感じたのもつかの間、2024年もあと残すところ少しとなって参りました。その中で、私達第26期東教区女性会役員会の第1回目の会報を、やっとお届けできまことは私達の喜びです。7月に「信徒の集い」を対面で開催して、春には、渡邊さゆり牧師の講演会を通して、平和について考える機会をもつことができました。11月の集いでは、「ほしくずの会」の尊いお働きを深く知る機会を持ち、また、在り方検討委員会の報告を行い、これからの女性会を皆様と共にえる時を持つ予定です。

私たちが今期、何を大切にしていきたいのか…主題にもありますが、「キリストに在って一つとなる」ということを一番にあげたいと思います。全てにおいて一致するのは難しいことですが、そこに希望の源である神がいてくださるなら、私達は神の愛によって信仰によって一つとされ、希望に満ち溢れることができると考えています。そして、この社会の中で、弱さを持つ人に目を向け、キリスト者として今、私たちがどのような働きを求められているのかを見つめながら、今期を、皆様と共に歩んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(文責 和田めぐみ)

### 役員挨拶

### 26期役員 5色を重ねて…



東教区女性会 会長  
和田めぐみ



女性会連盟 会長  
谷口和恵

第26期東教区女性会の会長を務めることになりました、三鷹教会の和田めぐみです。三鷹教会では何度かオリーブの会（女性会名称）の会長は担当してきたものの、女性会のことを深く知ることとなったのは、26期会長になってから。副会長の綱さんをはじめ、役員の皆様との話し合い、これまでの役員経験者の方々にお話を伺いながら学んでいるところです。

私はケニア・ボリビアなど、いわゆる途上国と呼ばれるところに住む機会を与えられ、そこで「本当の豊かさとは何か？」を考える時を過ごしました。文化、人種、全ての違いを超えて、神様によって生かされているこの世界の住人として、平和であることの尊さと儚さを感じながら、たとえ貧しくても生きる喜びをはじけさせ、助け合いながら生き生きと瞳を輝かせて生きる彼らの姿に、「本当の豊かさ」を教えてもらった日々でした。今も、困難にあうとその瞳の輝きを思い出します。これからの在り方が問われている教会・女性会に向き合う時を過ごしていますが、神様のお守りとお導きを信じて、私なりの会長としての働きを模索しながら、皆様と共に、役員会一同助け合って歩む26期でありますよう、祈っております。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さま初めまして。甲信地区の松本教会に所属しています谷口和恵と申します。

この度、連盟会長を仰せつかりました。現在、過去の資料を読んだり、諸先輩方のお話しを伺いながら教区女性会のこと、女性会連盟のことを学んでいるところです。東教区の役員5名、連盟の役員4名、それぞれ顔ぶれは違いますが、これから3年間チームワーク良く、祈りつつ歩んで行けたらと思います。コロナ禍を経てZOOMやLINEビデオでの会議が一般的になり、遠くにいましてもお互いを近くに感じられることは有難いことです。

「神のなさは時にかなって美しい」と聖書にあります。欠け多き私ですが、祈りつつ肅々と事を進めていけたらと願っています。皆さまのお祈りお支えをどうぞよろしくお願いいたします。



## 東教区女性会「在り方検討委員会」活動報告

26期の課題である「在り方検討委員会」のメンバー構成は、現在、

三鷹教会：和田めぐみ 松本教会：谷口和恵 飯田教会：神庭靖子 むさしの教会：八木久美  
藤が丘教会：江越倫子 都南教会：石田とも子 松本教会：中村紋子（敬称略）

7名で進められています。検討委員会委員の募集に手を挙げてくださった3人の方に感謝しております。

さて、委員会は、2024年7月13日に委員の顔合わせを行い、8月3日、第1回検討委員会が、市ヶ谷教会会議室にて対面で行われ、活発で自由な意見交換を行うことができました。女性会について感じていること、考えていることを自由に語り合い、各教会の違いを超えて同じ問題を共有する大切さと、キリスト者として何を大切にしたいかを考えていく豊かな時間を過ごすことができました。

**第1回委員会** 次回までに、この1年間の「在り方検討委員会」ロードマップ案を作成し、検討する事項を挙げ、それに沿って意見交換をしていくことを決めました。

**第2回委員会** 9月12日（Zoom会議）ロードマップ案及び検討事項5項目について提示し、話し合いながら修正をしつつ、検討事項について話し合いを深めました。

**第3回委員会** 10月17日（Zoom会議）に、前回出たそれぞれの意見を検討事項5項目に分類して、より深く一つ一つについて、疑問に思うこと、教会全体の問題とも照らし合わせて考える時間となりました。

11月9日の「秋の信徒の集い」では、ロードマップ案と検討事項5項目を皆さんにも共有し、少しの時間ですが、分かち合いの時を持ちたいと思います。よろしく願いいたします。どうぞ「在り方検討委員会」の活動のためにお祈りください。  
（文責：和田めぐみ）



東教区女性会 副会長・書記  
**綱 春子**

26期東教区女性会副会長・書記担当の綱春子（聖パウロ教会）です。宜しくお願い致します。

1940年年生れ。受洗日1963年9月8日（神水教会、久米芳也牧師）。受洗準備の途中でしたが、ひかり幼稚園の子ども達との出会いによって受洗に導かれました。女性会に参加したのは15期からです。

社会状況の変化と共に教会の状況も大きく変化してきました。今女性会組織も岐路に立っています。私たちは信仰に在ってどのように教会を支え、信徒の交わりを守っていくのでしょうか。これまでと同じ在り方では自然消滅の危機に立たされているように思います。信徒の新しいネットワークづくりを見出さなければならないのでは？と思い巡らしています。主のお導きを祈ります。



東教区女性会 文書  
**石原真由美**



文書担当となりました、むさしの教会の石原真由美です。新しいシャロンの花だよりを手にするたび、各教会の創意工夫や笑顔の働きが生き生きと伝わってきました。受け手から送り手へと変わり、これからの新たな交流の場の広がりを楽しみにしております。



東教区女性会 会計  
**小林エイ子**

主のみ名を賛美いたします。

この度、第26期東教区女性会の会計担当を拝命いたしました。

現在は市ヶ谷教会に籍をおいておりますが、私は聖パウロ教会の幼稚園に通園し「天のお父様・・・」とお祈りをして育ちました。

今までは教会内の活動中心で過ごしてまいりましたが、思いがけず女性会の役員として用いてくださることに感謝しております。本当にお役に立つ働きができるかどうか不安でしたが、「神様の御心のままに、どうぞお導きください」とお祈りをして第一歩を踏み出しました。女性会に参加するようになって先輩方のお話に耳を傾け、道を照らしていただけることは本当に力強いことです。その上、私が中高生の頃に婦人会で活躍していらっしやっ先輩方に再会できたことは大きな喜びです。

この三年間を祈りつつ神様のお導きにより歩んでいきたいと思ひます。よろしく願ひします。



第26期東教区女性会『第1回会長会 & 信徒の集い』

「平和って何だろう？……あなたの平和、わたしの平和……」

～多様性の中で平和を実現するために、  
今、私たちにできることを、共に考えてみませんか？～

日本バプテスト同盟駒込教会牧師 渡邊さゆり



2024年7月13日「第1回会長会&信徒の集い」に於いて渡邊さゆり牧師（日本バプテスト同盟駒込教会）講演会「平和って何だろう？あなたの平和、わたしの平和」を開催しました。2021年2月1日軍事クーデター以降、国軍と民主派勢力が衝突し非常に不安定な状況が続くミャンマー。「アトゥトゥミャンマー」（小規模支援団体）の支援活動を通して、それぞれに願い、祈りながらも手にすることのできない、平和、隣人と「ともに」を実現するためへの意識の転換。「学びほぐし」「学習棄却」「支援とは」「多様性の中で平和を実現するために、今、私たちにできること。」が語られ、Q&A、グループセッションと認識を共有する感謝の時間が備えられました。

プロフィール



**渡邊さゆり（わたなべ さゆり）**：大阪女学院高等学校卒（1989年）。関西学院大学神学部神学研究科博士課程後期課程単位取得退学。旧約聖書学 専攻。神戸西伝道所、曾根キリスト教会にて牧会、現在、マイノリティ宣教センター共同主事、日本バプテスト同盟 駒込平和教会牧師。国際基督教大学、ルーテル学院大学、東京家政大学 非常勤講師。

アジアの文脈から、批判的フェミニスト視座から聖書テキストの読み直し、女たちのエンパワーメントに参加したいと願っています。「普天間ゲート前でゴスペルを歌う会」に連帯する戸塚平和ゴスペル行動」代表。アトゥトゥミャンマー支援共同代表。

「平和って何だろう？……あなたの平和、わたしの平和……」に寄せて

水戸明子（三鷹教会）

「平和って何だろう？」日々テレビやネットでウクライナ情勢やガザ地区での戦闘のニュースが流れてきて痛ましく思いながらも、どこか遠い国の出来事と捉えてしまっている自分がいて、でも…心が痛むのです。講演会で、渡邊牧師が日本に住むミャンマーの方々の話をして下さいました。

軍事クーデターから3年以上がたち、在日ミャンマー人の人達は帰国もできず、つらい思いをされたことでしょう。その方々の声に耳を傾け、有志で始められた祈りの会はミャンマー支援を行う「アトゥトゥミャンマー」という団体を生み出したそうです。「アトゥトゥ」とはビルマ語で「共に」という意味だそうです。不安な時、辛い時、神様が共にいてくださると思うと心が穏やかになります。この団体は在日ミャンマー人の方々の状況に目を向け共に支え合いながら活動されている…そう感じ、心が動

かされました。講演の後、グループディスカッションで話し合い、自分達の身边にも平和に繋がるために出来る事があるのでは…と思いました。

「平和って何だろう？」性別、人種、宗教…色々な違いがこの世の中に存在します。職場でも、相手との考え方や行動の違いに戸惑いを感じ、距離をおいてしまうことが少なからずあります。しかしながら「違う」と言って相手を遠ざけるのではなく、違いを認め尊重し合い共に歩む方法を探していく事が大切であると気づかされました。

平和のために私たちが出来る事…『諦めずに共に祈ること』。神様がいつも共にいて支えて下さることに感謝しつつ、平和のために祈りたいと思います。日々の中で起こる小さな争いから目を背けないで、共に関わっていきたくと思います。まずは身近に起こっている出来事から…

～多様性の中で平和を実現するために、

今、私たちにできることを、共に考えてみませんか？～に参加して

山内陽子（藤が丘教会）

渡邊さゆり牧師の講演では、ミャンマーの現状のこと、マイノリティについて、信仰とは、平和とは、と多くのことを考える時間を与えていただきました。ありがとうございました！

ミャンマーの現状について自分なりに調べてみた。ミャンマーは宗教や言語の違い135以上の民族が集まった複雑な超多様性国家で、独立、内戦を繰り返してきて、近年民主化に向かうようにも見

えたが、2021年の国軍のクーデターによって、再び内戦状態になった。犠牲者は5000人以上で、タイなど隣国にのがれている避難民も320万を超えられている。たまたま私の教会にいる友人が、Zoomでミャンマーに住んでいる方に日本語を教えている。彼女の話では、度々の空爆に加え、洪水などの水害によって、そうした時間をもてないことが多く、すぐそこで起きている紛争を身近に感じているという。しかしながら、日本の行政は、クーデターによって帰国困難になった人々が家族を呼び寄せたくても、パスポートやビザ取得を容認せず、あまりにも非人道的である。難民に対する法整備がおくれ、また入管法改正が改悪化して問題となり、2021年には入管法改悪反対運動などが起こっている。日本における移民受け入れは世界においても多く受け入れている方なのに、難民認定率は世界でも類を見ないほど低い。

今一度、日本社会をみたとき、一見平和にも見える日本でも、そうした法律的な問題や世の中の偏見がかなり多い。LGBTや移民などのマイノリ

ティへの法的、人権的差別があり、男女間の社会的地位、賃金的格差などの不平等が今でも現存する。法律、行政の改善がかなり遅れている。また、多様化する社会の中で、メディアやSNSの氾濫により、日本社会や世界情勢に対する正しい情報が入ってこないことも多々ある。マジョリティーの発言のみが、あたかも正しい社会の常識のようにも言われる。ただ、常識とはその時代、その国によって、異なるもので変化していくものであり、果たしてその時の常識が、本当に正しいものなのかどうかは、個人として考える必要がある。

本来、人として持つべきものは常識ではなく良識で、良識は、信仰と、神と結びついて、不変的なものなのではないのか？と思う。渡邊牧師の講演を聞いて、あらためて、自分のできる平和とは何か？何を実践していくべきか？を考え、その良識をもって一步でも前に進んでいきたいと思っている。

世界の平和のために、皆様の平和のために、神様のお守りと平安がありますように。

## 渡邊さゆり牧師 講演の感想

はじめに、渡邊さゆり牧師の自己紹介を伺いました。現在ヘイトスピーチなどの人種差別問題に宗教者の立場から取り組む「マイノリティ宣教センター」、「普天間ゲート前でゴスペルを歌う会に連帯する戸塚平和ゴスペル行動」「アトゥトゥミャンマー」支援等々多岐に亘る働きを担われています。

特に「アトゥトゥミャンマー」支援、クーデターで政権をとったミャンマー国軍へ抗議する在日ミャンマー人をサポート、現場で実際に寄り添い支援されている渡邊牧師のお話は大変、貴重で興味深いものでした。

戦争といえばイスラエル パレスチナ戦争、ロシア ウクライナ戦争を思い、心を痛めることが多いのですが、身近なアジア、ミャンマーでの内戦に無知なことを思い知らされました。

同じ国で生まれ育った若い人同士が突然徴兵され、殺し合わなければならない苦しみは筆舌に尽くしがたいことです。

大正生まれの祖母が「良い人を悪い人に変える、すべてを破壊する戦争は絶対にいけない！」言っていたのを思い出しました。

コロナ禍ではあったものの、お詫びの言葉を述べながら、ミャンマー軍事クーデターに対して抗議集会を持つ人々に心ない言葉を発していた日本の人たちのことを聞き、残念に思いました。

ミャンマー西部ラカイン州のイスラム少数民族ロヒンギャ難民の話も伺いました。

数年前ある友人がロヒンギャ難民施設にかくまわれている女性達が作成したという十字架の首飾

りを売っていました。一時期私の周囲の女性皆がそれを着けていました。恥ずかしながら、私は今回のお話を聞くまでロヒンギャとはアフリカの少数民族だと思っていました。



アトゥトゥミャンマー支援「ミャンマーを覚える祈り会」は毎週金曜日午後9時からZoomで行われています。会の最後には連帯を表明するため、現地で毎晩行われている鍋たたき（非暴力不服従の抗議行動）をもって終わるそうです。

参加したい気持ちはあるものの、なかなかかなわずにいます。そこで今私にできることは何かと考えました。

仕事柄留学生と接することがあり、ナイジェリア人とオマーン人の学生に「日本の生活はどう？何か困っていることはない？」と話しかけることができました。

オマーン人の学生は涙を浮かべて、故郷では毎週末家族で集まって食事をしていましたが、今は一人で寂しい、日本の人は私が挨拶しても挨拶してくれない、ハラルのため、鶏肉でさえトルコ産の物を遠くに買い出しに行かなければならず、勉強との両立が大変等々。

渡邊先生の講演を通して視野が広げられたことに感謝しています。日本にいて困難に合っている方々とより添い、違いを尊重し、平和を作り出すものとさせて頂きたいと願います。



## 市川教会女性会



市川教会女性会の活動は主に毎月第三日曜日の主日礼拝終了後に「聖書に学び祈る会」と「女性の集い」の両方が開催されています。参加は女性だけでなくすべての教会員が自由に参加できます。女性会の会員は12名ですが、平均15名の出席があります。

## 城北・総武地区

城北・総武地区教会から  
\*笑顔\*  
のお届け

◆「聖書に学び祈る会」では会報をもとに中島牧師による聖書講話を行います。参加者が持ち回りで司会進行を行っています。司会者は讃美歌を選べるといった特権があり、それぞれの思いが詰まった讃美歌をみんなで讃美し、祈りを捧げます。

◆「女性の集い」ではクリスマスやイースターの愛餐会の際に簡単な軽食の準備やクリスマスカードの作成を行っています。飲み物やお菓子をいただきながら、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしています。

また、今年の全国総会には市川教会女性会から6名が参加させていただきました。これからも仕事や個々の予定を調整しながらできるだけ東教区の集いにも積極的に参加したいと思っています。他教会女性会の活動を参考にさせていただきながら、市川教会女性会として何ができるか、ともに考えながら今後の活動の可能性を探っていきたいと思っています。

市川教会では本格的なクラシックコンサートを年に3回、第五土曜日に行っています。登録有形文化財に指定された美しい市川教会と素晴らしい音響に会いに是非お出かけください。

(会長 川口ひとみ)

## 千葉教会女性会



## 日本福音ルーテル千葉教会女性会の活動

女性会のコロナ前の働きを今回振り返ってみました。

- ・毎週礼拝後の昼食（デザート付き）の提供
- ・毎年のパザーでの食堂開催と手作り食品ケーキの販売
- ・クリスマスとイースター礼拝後の祝会準備
- ・十勝豆とルーテル昆布の予約販売
- ・聖壇の供花と、花壇の手入れ等です。

現在は少しずつ働きが再開出来るようになりました。皆の手と手を合わせて、温かな交わりのある女性会を取り戻しています。

(会長 石田せつこ)

## 稔台教会女性会



稔台教会女性会の例会は偶数月の第3日曜日礼拝後、女性会をまとめる世話人会（役員と言うと皆さんが敬遠されるので、今年から少し柔らかな『世話人』と称しております）は奇数月の第3日曜日に会議を開いております。例会では、会報のみ言葉の学びにより、当教会だけでなく全国の皆様との連帯を確信し、その後の交わりでは、「聞いてください私の話」と題して、会員の自己紹介を行っています。親しくしていても意外と気づかなかった一面を知ることができ、友への理解と関心を深めるきっかけとなっています。また、年に2回、女性会主催の「フリーマーケット」を開催

し、ウクライナ、パレスチナ、地震災害のお見舞い、放射線量計測のグループなどへ献金しております。第1回が2022年の10月で、5回目となる次回は12月1日（日）の礼拝後に開催予定です。教会員のみ限定し、1時間ほどのことですが、開催当時はコロナ渦で皆の気持ちが塞ぎがちでしたから、小規模ながら結構賑やかに楽しんでおります。

クリスマスには例会に加え、聖歌隊やオカリナグループとの祝会が恒例となっています。

(会長 石飛久子)

## 聖パウロ教会女性会



聖パウロ教会女性会は、高齢化が進み小さな群れとなりましたが、年間計画に従い、毎月第4週、礼拝後に例会を開いています。内容は教会に来れない人へ手紙を書くお便り会、老人ホームへのプレゼントづくり、外出してのお散歩・食事会、クリスマス&イースター準備等、世界祈禱日の対象国について勉強会、ACWC研修会のテーマについて勉強会をしています。私たちはよくおしゃべりをし、心を通わせています。教会主催の年1回の信徒会及び総武地区合同礼拝には協働し参加します。

例会開会礼拝は連盟の聖書箇所を用います。合わせて当教会の牧師の奨励を聞きます。み言葉の学びを大切にしています。この日の食事のために、いつも気を配って下さる人がいる事は感謝です。これからも状況に合わせて無理なく出来る事をやり、男性と合同でのプログラムも計画していきたいです。

(会長 豊島久子)

## 東京教会女性会



東京教会女性会は毎月第3主日の礼拝後に例会を開いています。例会での聖書研究は連盟会報のしおりを用い、どなたでもご参加いただけるよう、礼拝に引き続いて礼拝堂で行います。会員以外の方で2~7名の同席があります。聖研後は集会室に移動し、コンビニおにぎりとお味噌汁その他で食事をしながら近況等々楽しくおしゃべり。食後の第二部のメインは、今年は「讚美歌と私」というシリーズです。毎回1人ずつ、好きな讚美歌の紹介とその理由をお話するものですが、教会へ来られるようになった証や日々感じておられる信仰についての思い等々が語られ、その方を通して神さまとのつながりや信仰をみんなで共有する恵に与っています。その後は教区や連盟からのお知らせや決め事等の話し合いをして、主の祈りをもって終わります。

教会内で女性会がメインで行っていることは、「お仕事会」を開いて手作り品や「祈りのショール」を作成してバザーに出したり、星の家や東京老人ホームへの献品を募って集めることなどです。

残念ながらいらっしゃれなくなる方々も増えています。皆でカードを書くなど内側の動きも大切にしつつ、教区や連盟を通しての活動など外側への関心と祈りと支えを持てる女性会で在りたいと思います。

(会長 松本奈美)

## 東京池袋教会女性会



### 私たちの女性会の活動について

#### \* 毎月1回女性会例会

1部は永吉先生の奨励、お祈り先生の奨励(使途言行録)2:42-3千人がペトロの言葉を受け入れ洗礼をうけた。使途の教え相互の交わりパンを裂くこと祈ることに熱心であった。このことが教会のスタートとなった。

2部は教会の問題や行事などの話し合い

・宣教、親睦を目標にバザーを考える。聖餐式の後片づけの募集2人決まりました。

\* 手作りカード販売、年2回洋服のリサイクル(教会内)

決まった人が上手にカードを作っています。洋服のリサイクルは献金として教会へ送っています。

\* 婦人会のクリスマス会 役員会で話される ・コロナ以降昼食会は行っていません。

(会長 池谷節子)



巻頭言執筆者プロフィール

牧師 高村 敏浩 (たかむら としひろ)

スオミ教会出身。三鷹教会牧師、ルーテル学院大学チャプレン。アメリカのルーテル聖書学院(LBIS)、ペテル大学(バプテスト)、セントジョンズ大学(カトリック。修士)で学んだ後、日本ルーテル神学校に編入し、2010年に受按。岡山教会、松江教会、高松教会での兼牧の後、フィラデルフィアのルーテル神学校に留学。T. ウェンガート教授に師事し、2023年に宗教改革学で博士号(Ph.D.)を取得。結婚し、1歳になる娘がいる。

26期東教区女性会

第2回「秋の信徒の集い」のお知らせ

日時：2024年11月9日(土) 10:30~15:00  
会場：日本福音ルーテル蒲田教会  
東京都大田区仲六郷1-40-18  
☎03-3731-6777  
内容：\*ほしくずの会を深く知る  
\*癒しの音楽の時間  
~ハープと詩編&フルートの調べ~

宗教改革日礼拝



日時：2024年10月31日(木) 18:45~21:00  
会場：市ヶ谷教会  
[第一部] 聖餐式礼拝  
説教：石居基夫牧師(ルーテル学院大学学長)  
[第二部] 「これからの教会に願う事」  
発題：立山忠浩牧師  
(日本福音ルーテル神学校 校長)  
+リアクター2名+会場  
問合せ：伝道奉仕部 内藤新吾牧師(総台教会)

今後の予定・ご案内

2024 東京老人ホーム

クリスマスプレゼントのお届け  
クリスマスカード・オーナメント・ウェス  
(捨て布)

2024 ほしくずの会

クリスマスプレゼントのお届け  
冬用下着・靴下・手袋・カップラーメン等

2025 世界祈祷日

\*テーマ国 クック諸島 (Cook Islands)  
\*3月第一金曜日 2025年3月7日  
\*テーマ  
「わたしたちは  
おそろしいほどに、  
すばらしく  
造られています」

“I Made You  
Wonderful”  
ークック諸島からの  
メッセージー



アジア教会女性会議 (ACWC)



ACWC日本委員会  
2024年度一日研修会

主題：「共に進もう、世代を超えて  
~聖霊によって結ばれて~」  
日時：2024年11月1日(金) 13:30~15:30  
場所：日本基督教団銀座教会 3階礼拝堂  
DAY礼拝：説教 山森風花 師  
(日本基督教団銀座教会伝道師)  
発題：竹川真理子センター長  
(NPO法人在日外国人教育生活相談センター)  
アピール：ACWCについて  
リーストコインの交わり  
ACWC支援献金

\*一日研修会は後日YouTubeで配信されます。

..... 編集後記 .....

今年2月東教区女性会総会で「女性会の在り方検討委員会」設置が承認され、6月女性会連盟総大会では、全教区に設置が承認されました。  
We're in the same boat! 私たちは一つの船に乗り、船はこぎだされました。(記：石原)

東教区女性会会報 第104号 2024年11月11日  
発行人：日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会  
発行者：和田めぐみ 編集人：石原真由美